

SHISEIDO

資生堂のTNFD開示の 取り組み

2025/2/27

株式会社資生堂
サステナビリティ戦略推進部
大橋 憲司



自己紹介

経歴

- 1998年 名古屋大学 農学部卒業
2000年 名古屋大学大学院 生命農学研究科修了
→分子生物学、微生物学、生化学
細菌の転写因子のリン酸転移を介した細胞内情報伝達
- 同年 株式会社資生堂に入社
- 2000年 化粧品の処方開発
2006年 化粧品のパッケージ開発
2008年 環境素材の探索、環境負荷算定手法の開発
2013年 本社（CSR部→→→サステナビリティ戦略推進部）
2019年 上智大学理工学部 非常勤講師「環境問題と科学技術」を担当





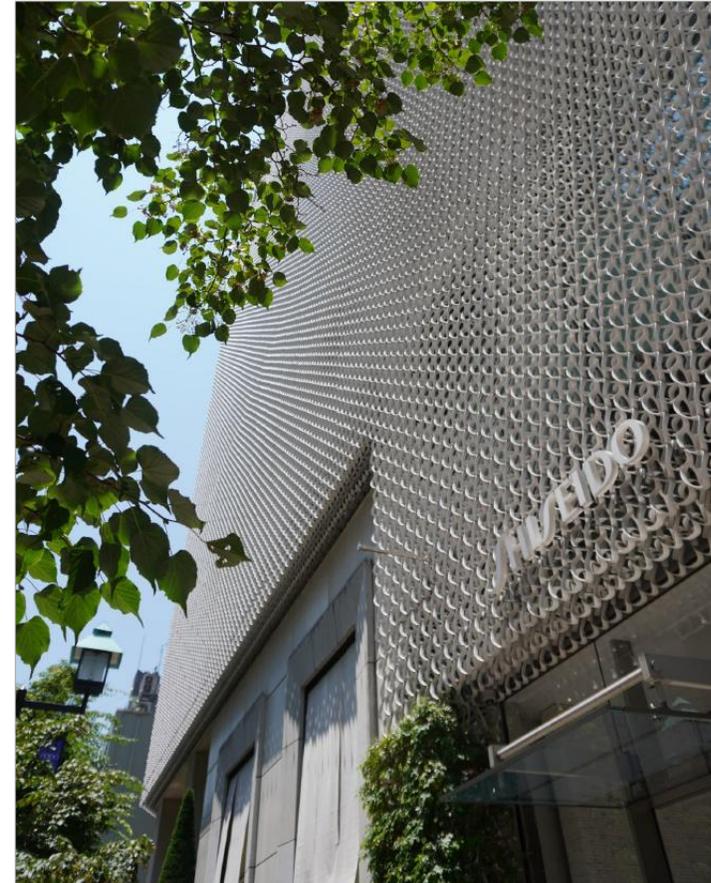
**OUR MISSION is
BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD**

サステナビリティレポート (左) 気候/自然関連財務情報開示レポート (右)



SHISEIDO

SUSTAINABILITY
REPORT
2023



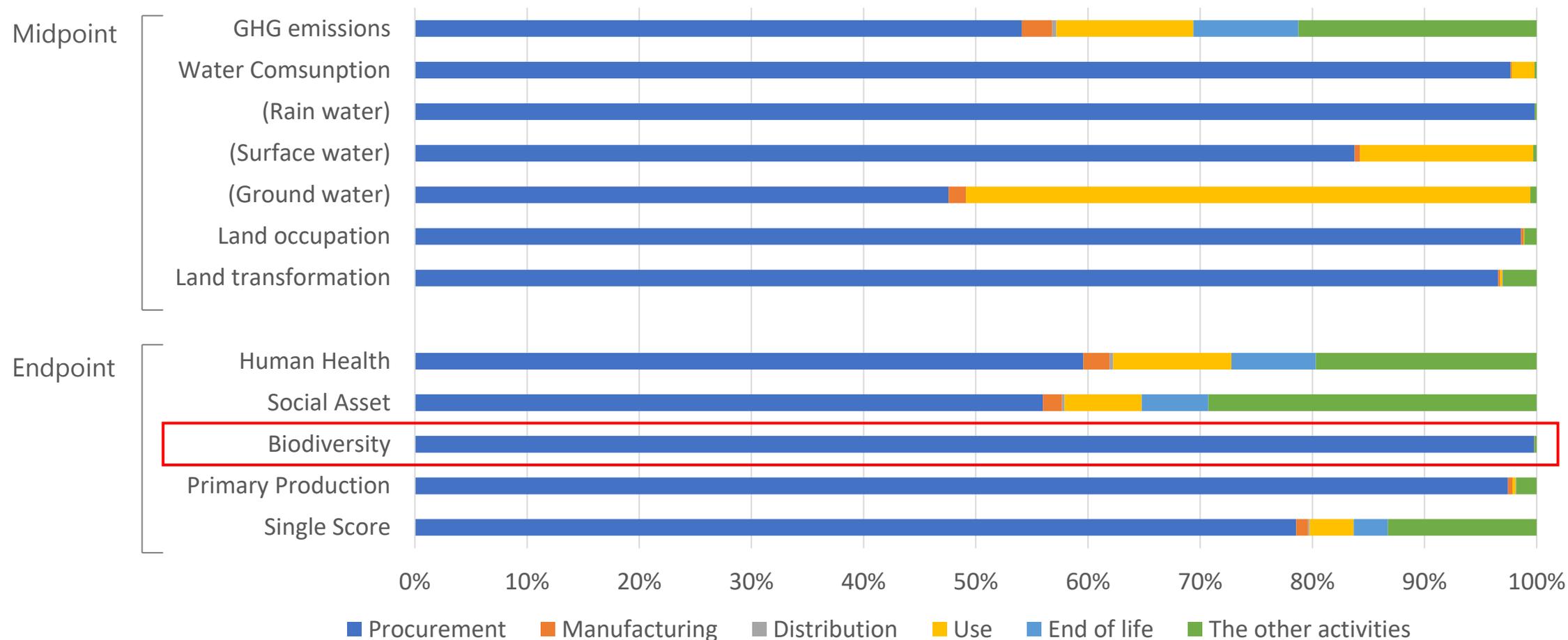
Shiseido Climate/Nature-Related Financial Disclosure Report
June 28, 2024





TCFD・TNFD情報開示に 取り組むのは何のため？

LCA (LIME3) によるバリューチェーン評価

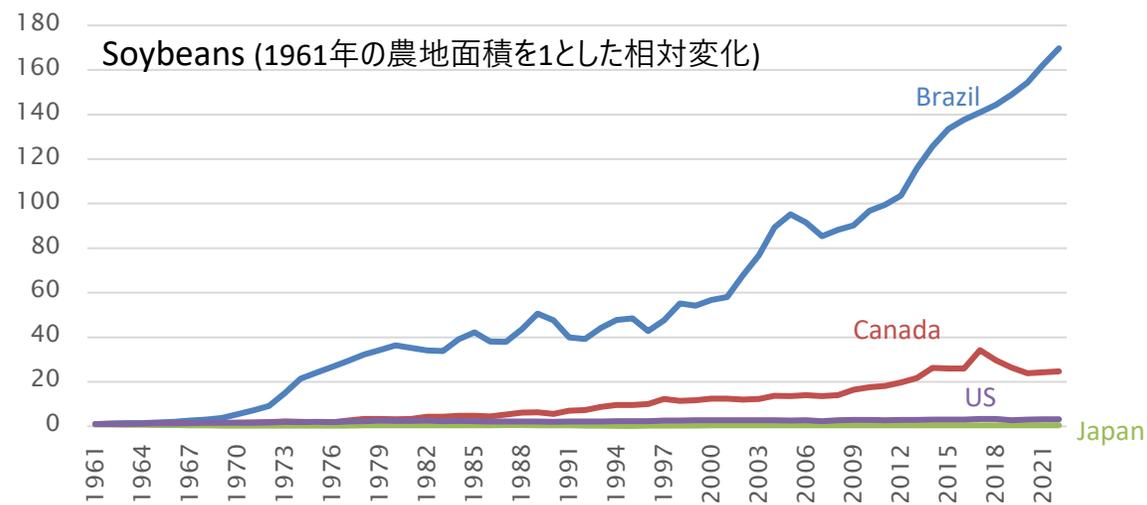
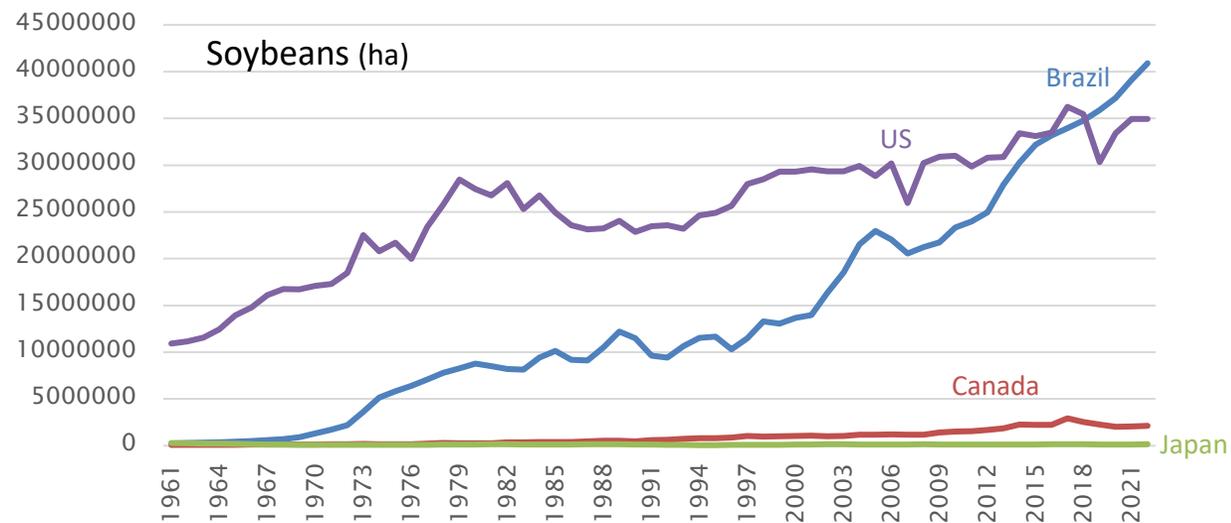
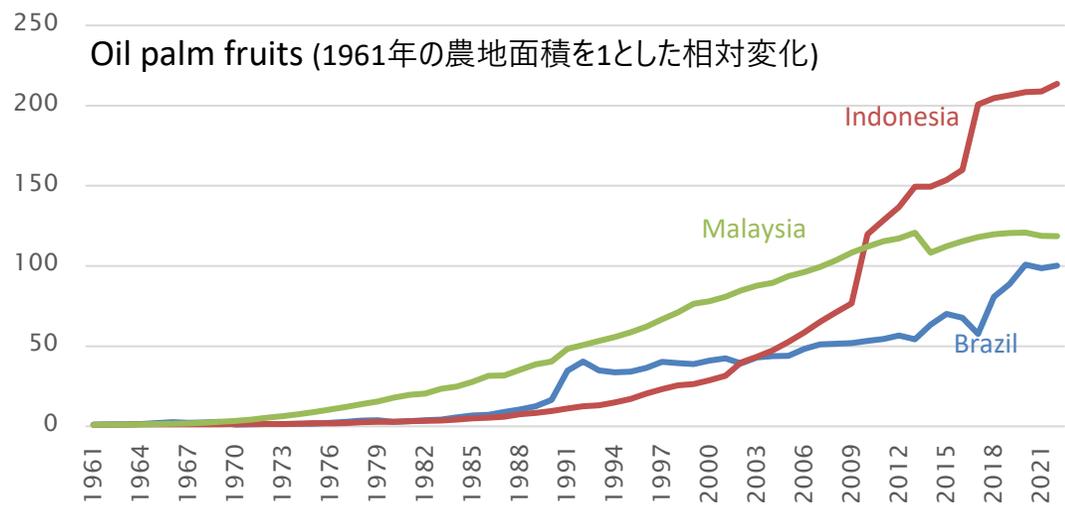
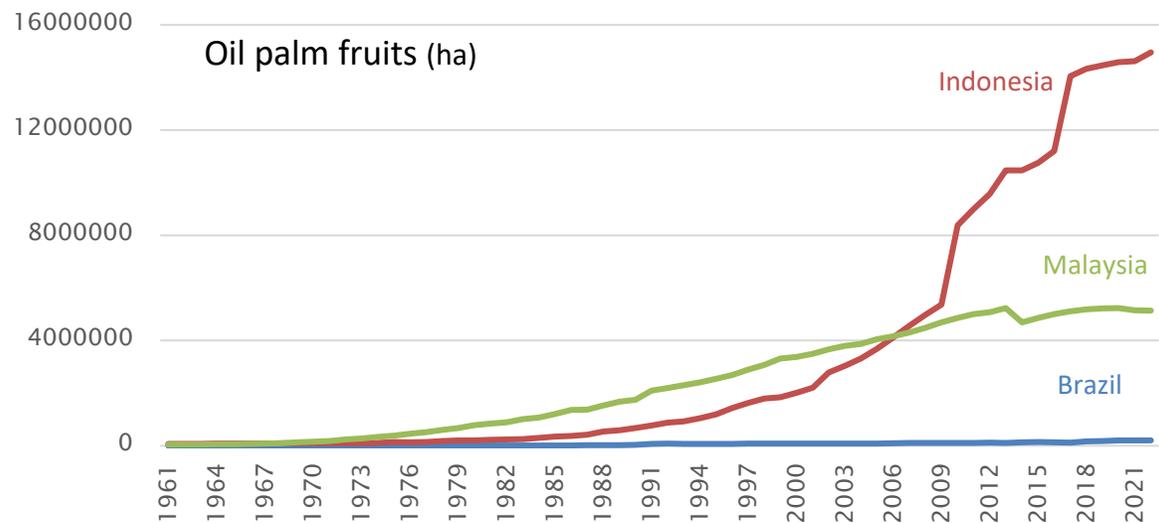


資生堂 気候・自然関連財務情報開示レポート2024より

LEAPアプローチの適用

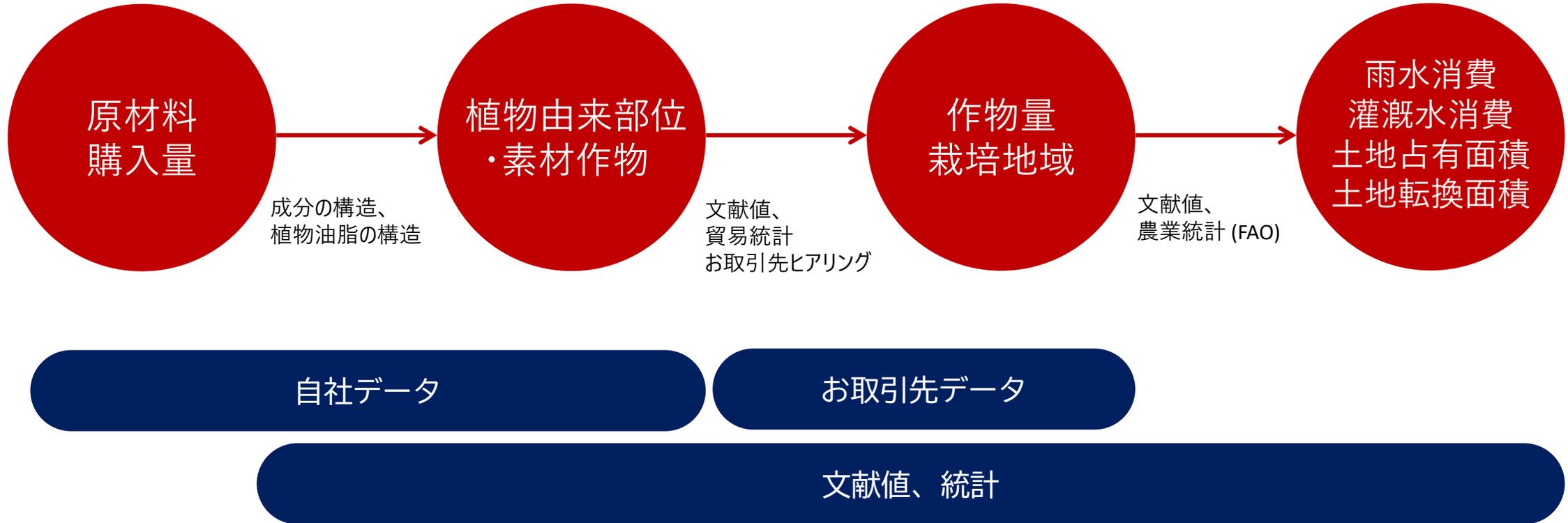
	自社サイト	バリューチェーン
Locate 自然との接点	自社サイトの情報収集（位置、資源利用など）	バリューチェーン情報収集（原料調達など）
	フットプリントの特定：LIME3による組織のLCA分析 Midpoint：気候変動、水資源消費、土地利用、土地転換、資源利用、廃棄物など Endpoint：人間健康、社会資産、生物多様性（種の絶滅リスク）、植物一次生産	
Evaluate 依存と影響	周辺生態系の重要性・十全性、水ストレスの評価	調達原料の素材作物・栽培地域ごとの土地利用、土地転換、水資源消費量の推計
	リスク／機会要因の特定 インパクトドライバーと要因間の関係性を整理 重要リスクのモデル化（定量評価）	（移行） 評判、税制、規制、地政学 （物理） 極端現象、渇水、水質悪化、調達コストなど
Assess リスクと機会	自社サイト内での生物モニタリング ミツバチの保護 地域ステークホルダーと連携した水環境調査	パーム関連原料、紙の認証化 原料トレーサビリティ調査 サプライヤーアセスメントプログラム
	Prepare 対応と開示	

なぜ「Locate」が重要なのか？



サプライチェーン上流のLocate

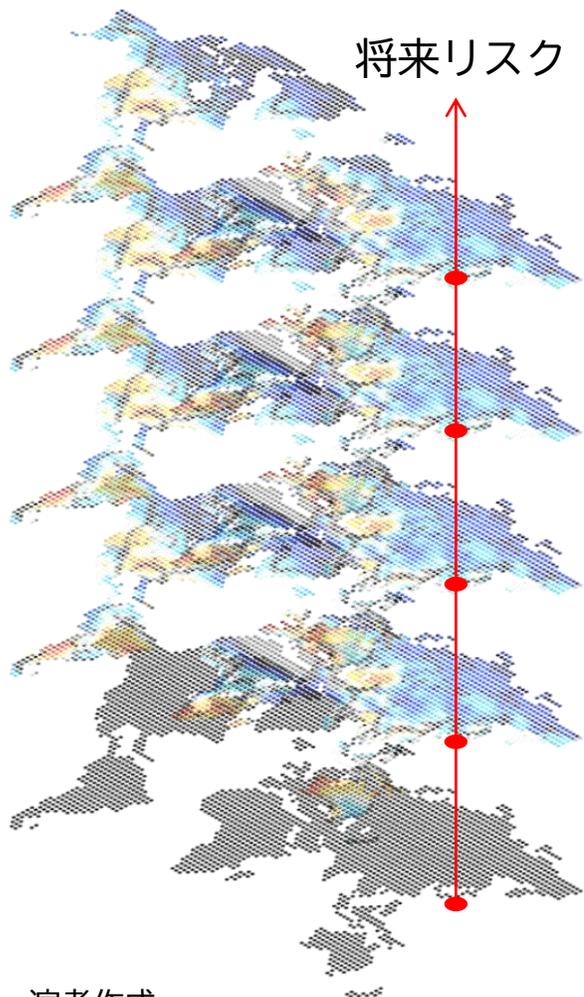
L		
E		
A		
P		



リスク／機会要因の特定と定量分析

—水リスクを例として

L		
E		
A		
P		



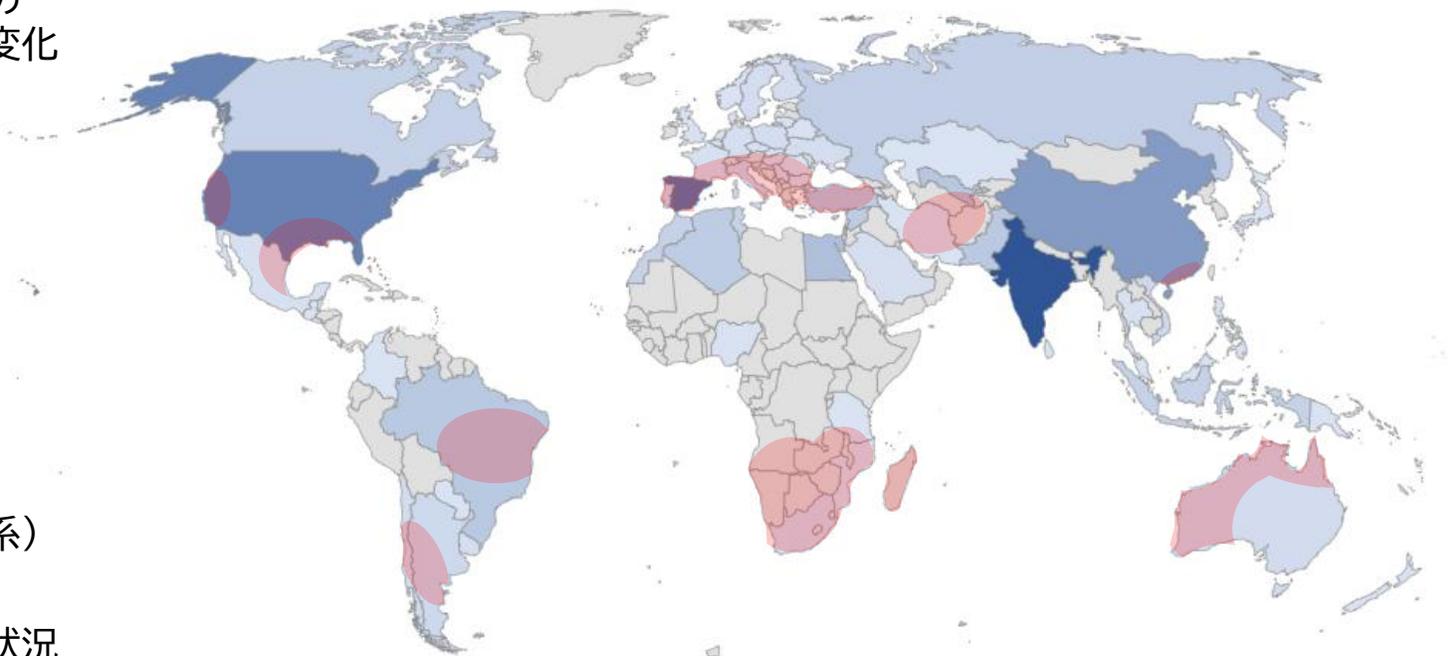
人口変化による将来の水資源の競合状態の変化

雨量変化予測による将来の利用可能性

現在の水資源の利用可能性

地理情報
(国／地域、河川水系)

現在の水資源の使用状況
(地点、水量、水源)



自社サイト周辺生態系の重要性・十全性、水ストレス、土地占有の評価

L		
E		
A		
P		

事業所名	国/地域	センシティブロケーション				マテリアルロケーション		
		生態系の重要性		生態系の十全性		水資源	土地占有	
		地理的要因	希少種	自然度	生物種			
資生堂 掛川工場	日本	黄	橙	黄	緑	緑	黄	
資生堂 大阪工場	日本	黄	緑	黄	緑	緑	黄	
資生堂 大阪茨木工場	日本	黄	緑	橙	緑	緑	黄	
資生堂 那須工場	日本	黄	橙	黄	緑	※	黄	
資生堂 福岡久留米工場	日本	黄	緑	橙	黄	緑	黄	
資生堂化粧品制造有限公司	中国	黄	橙	橙	黄	緑	黄	
資生堂麗源化粧品有限公司	中国	黄	緑	橙	黄	赤	緑	
台湾資生堂 新竹工場	台湾	黄	緑	赤	黄	緑	緑	
資生堂アメリカ イーストウィンザー工場	アメリカ合衆国	黄	橙	黄	黄	緑	黄	
バル・ド・ロワール工場	フランス	黄	緑	橙	黄	緑	黄	
ジアン工場	フランス	黄	橙	黄	黄	緑	黄	

資生堂 気候・自然関連財務情報開レポート2024より

シンク・ネイチャー社ハビタットデータ、World Database on Protected Area、Key Biodiversity Area、Tim Newbold et al. (2016) Science vol. 353, No. 6296 3、Haowei Mu et al. (2022) Scientific Data 9 (1), 176、IUCN レッドデータブック、環境省レッドリストなどに基づく分析 (MS&AD インターリスク総研のサポートによる)

SHISEIDO

地域ステークホルダーと協働した水環境調査

L		
E		
A		
P		



複合扇状地に立地する資生堂那須工場



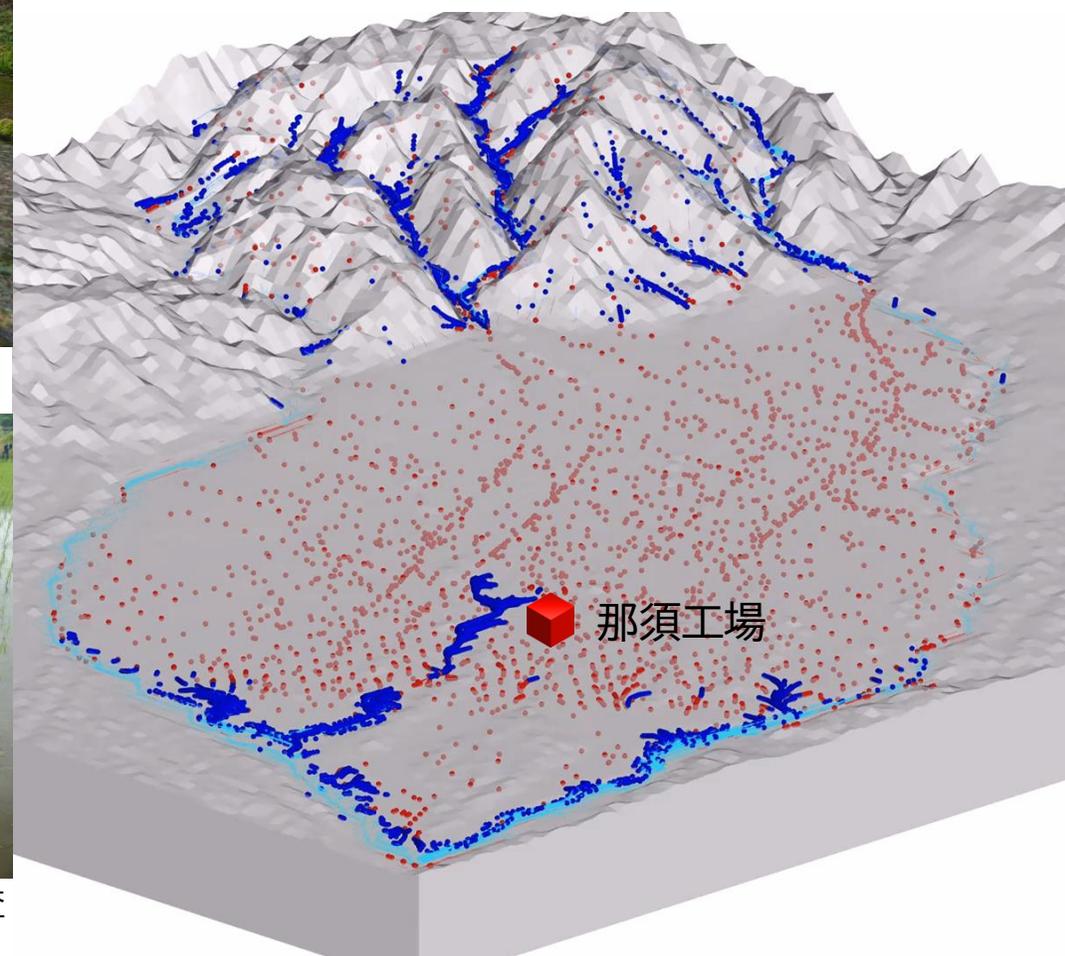
工場周辺の湧水地



専門家や地域ステークホルダーとのダイアログ

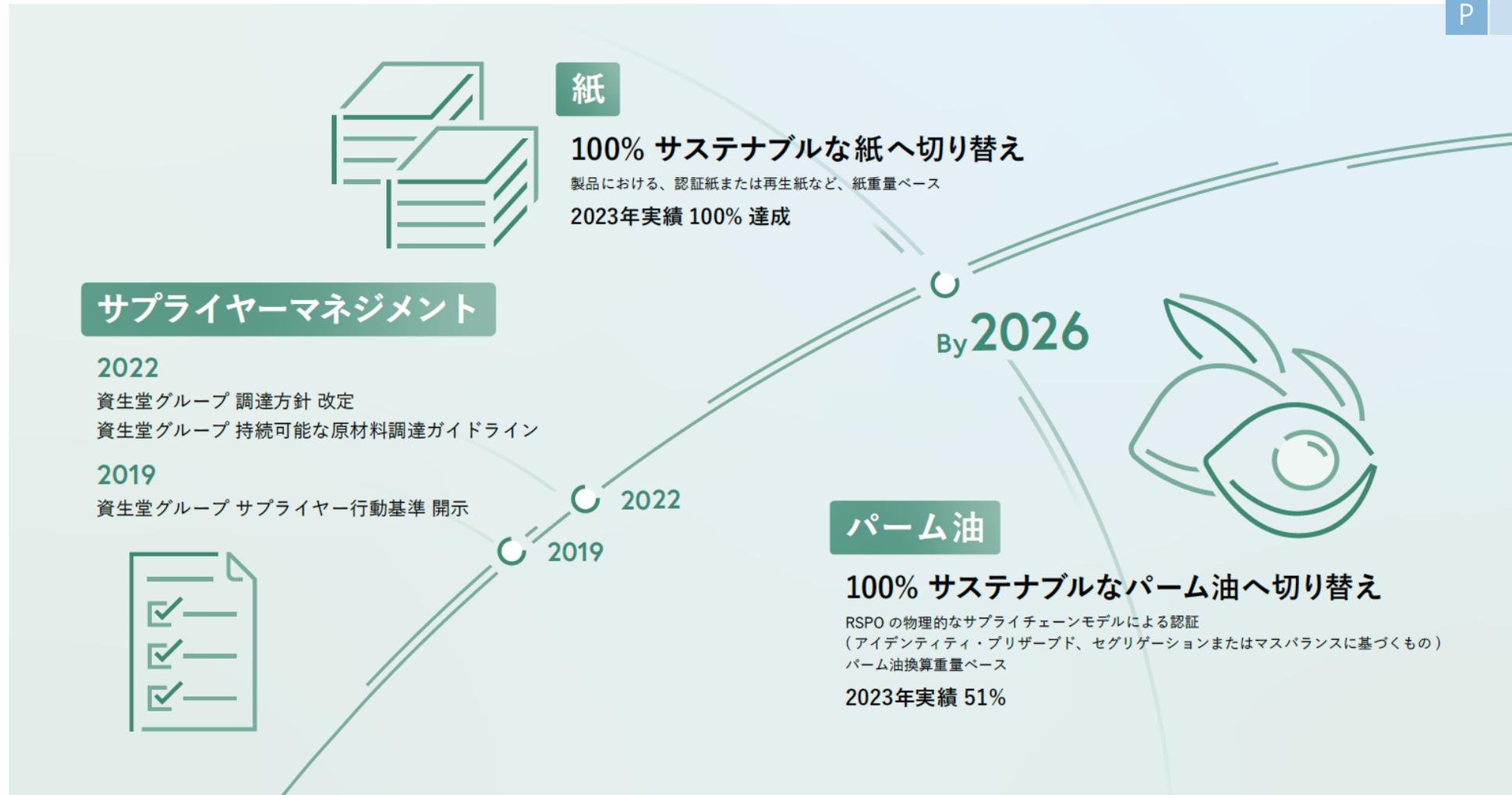


排水流路や地下浸透量を地元高校生と共同調査



認証原料への切り替え

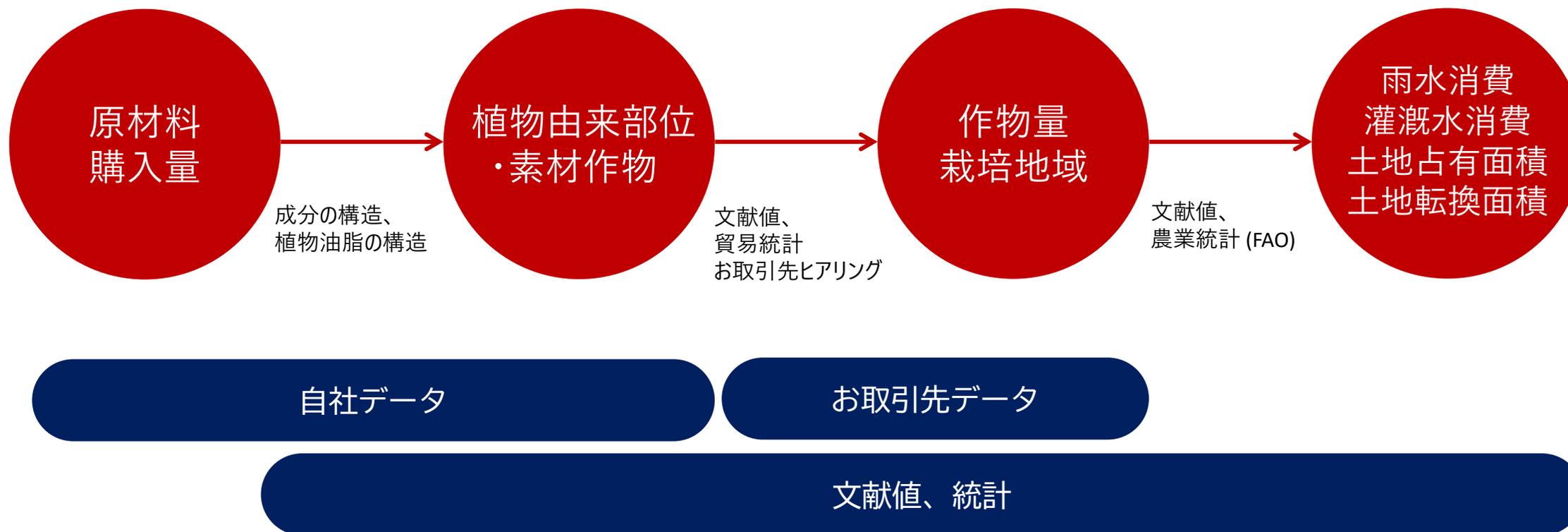
L	
E	
A	
P	



資生堂サステナビリティレポート2023より

サプライチェーン上流のLocate

L		
E		
A		
P		



今後の課題

- シナリオ分析（未来予測）の経営戦略・企業のトランスフォーメーションへの活用
- サプライチェーン上流の地理情報の追跡（Locateの精緻化）
- 戦略アクションによる生態系影響の回避・削減効果の見える化
- 評価できていない領域（先住民など）の評価

(例) 素材作物生産地を考慮したLIME3による
パーム油由来原料の生物多様性インパクト

通常のパーム油原料



RSPO認証原料



TNFDの評価・開示スコープ

開示のスコ

……組織は自然関連の評価と開示のスコ、およびそのスコを決定する際にたどったプロセスについて、以下を含めて説明すべきである。

- 組織の**直接操業および上流と下流のバリューチェーン**における**活動と資産**を、自然関連の依存、インパクト、リスクと機会について評価したものの……

